

# 日刊薬業

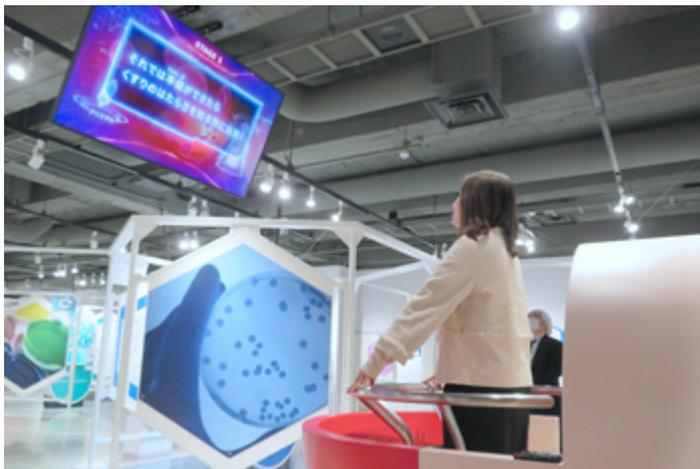
2025年3月24日（月）

## 科学技術館の常設展示をリニューアル

製薬協

2025/3/21 19:34

日本製薬工業協会は、科学技術館（東京都千代田区）の常設展示「くすりの部屋—クスリウム」を一部リニューアルし、一般公開した。21日に同館で開いた報道陣向けの発表会で、製薬協の上野裕明会長は「薬の研究開発には長い時間がかかるため、次世代へとつなぐ必要がある。まだ治らない病気に対する挑戦の気持ちや、製薬を面白いと感じるきっかけとなればうれしい」と期待した。



製薬協が新設したアトラクション「マイクロアドベンチャー」  
=21日、東京都内

新設した展示物の目玉は、クイズゲーム型のアトラクション「マイクロアドベンチャー」。カプセル剤を模した乗り物から手すりを左右・前に傾け、前方のテレビ画面に映し出される薬関連のクイズに答えることで、楽しみながら学べるようにした。このほか、白衣を着用して写真を撮影できるコーナーや、新薬ができるまでの道のりが分かる「創薬パズル」も新たに設置した。

製薬協はリニューアルした展示を盛り上げるため、3月21～23日の間、薬の研究者や薬にまつわるさまざまな知識を学べる小学生親子向けの体験型イベント「製薬協 クスリウム研究室」を、同館で開く。製薬技術にちなんだ実験ショーや、工場での作業工程が描かれたすごろくなどを用意。ドイツの顕微鏡メーカーであるカールツァイス社と協力し、電子顕微鏡内部の模型も展示する。